

## 平成 29 年度第 2 回土佐清水市総合教育会議 会議概要

■開催日時：平成 30 年 1 月 19 日（金）16:05～（16:55 終了）

■開催場所：市役所 2F 市長応接室

■出席者

構成員：泥谷市長、山本教育委員、山下教育委員、竹田教育委員、弘田教育長  
（酒井教育委員欠席）

オブザーバー：磯脇副市長

事務局：中津学校教育課長、井上学校教育課長補佐、横山企画財政課長、山下企画財政課長補佐

### ◇会議次第【司会進行：横山課長】

#### 1 開会【泥谷市長あいさつ】

#### 2 議事

##### （1）清水高校の在り方について

【中津学校教育課長説明】

清水高校への市内中学校からの入学率は、平成 21 年度 59.4%、平成 25 年度 41.0%、平成 28 年度 47.6%となっている。

清水高校に対する支援策としては、平成 26 年度から連携型中高一貫教育を実施。中高交流事業の実施や、市の補助金を活用した講演会開催、英語検定等の受験料半額支援を行うなど、キャリア教育を推進している。

また、市の奨学資金として、従来通り大学は 40,000 円、短大 30,000 円、高校 17,000 円を貸与しているほか、清水高校卒業生で関西学院大学人間福祉学部へ指定校推薦で進学する生徒に対し、入学準備金として無利子にて 30 万円を貸与、その後、新卒で土佐清水市に住所を有し居住した場合や、清水高校卒業後、奨学資金の貸与を受け進学し、新卒後、同じく土佐清水市に戻った場合は返還後に市が補填を行うこととしている。

\* 清水高校の高台移転、学校存続にあわせ、特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりのための協議を今後も県と連携しながら行っていく。

##### （2）いじめ対策について

【中津学校教育課長説明】

土佐清水市の小学校、中学校におけるいじめの認知件数は、小学校で平成 26 年度 3 件、27 年度 5 件、28 年度 1 件、中学校では平成 26 年度 7 件、27 年度 5 件、28 年度 6 件となっており、小学校、中学校ともに、そのすべての事案が解消されている。

「いじめ」は早期に発見し、早期に対応することが必要であり、把握方法として、いじめアンケートを年に 2 回、生徒の実態把握ができる生活満足度調査の Q-U アンケートも年に 2 回行っているほか、個別面談、生活ノートの実施などで「いじめ」の実態の把握に努めている。

いじめの内容としては「冷やかし」や「軽くぶつかる」などの様態で、いじめを発見した場合には学校では校長、教頭が指導するなど、教諭単独ではない連携した形による対応を行っている。

いじめ対策についての取組は、土佐清水市いじめ防止対策推進法に基づき設置されるいじめ防止等のた

めの対策を担う付属機関等があり、学校教育課が事務局になり組織している協議会等のほか、学校の中にも「いじめの防止対策委員会」を設置し、学校それぞれの特色にあった形で子供たちの実態把握、いじめ防止、人権教育、道徳などを行っている。また、重大事案が発生した場合にもいじめの実態を直に調べ、被害者、加害者、保護者に対して踏み込んだ形で調査していく体制を構築している。

いじめはできるだけ早期に発見したいという思いで取り組んでおり、今のところ重大事案は発生していない。

今年度内にいじめ対策についての方針を見直すよう国から指示がきており、今年度内に見直すよう作業に入っている。

\* 学校現場では、仲間づくりや、人権教育に力を入れて「人を大事にする」ことに取り組んでいる。早期発見のためにも「いじめ」の認知件数を計上することを恐れず、早めの対処で早期解決を図っている。

(16:55 会議終了)